

せておきたい。

学校の教師は、次の2つの責務をもっていると思う。

- (1) 生徒たちに教えるという仕事
- (2) 仲間とともに自分を磨く仕事

公民館主事は、次の2つの責務をもっていると思うが、どうであろうか。

- (1) 住民たちの相談にのる仕事
- (2) 仲間とともに自分を磨く仕事

学校の教師にも、生徒のもち出す相談にのるという仕事がある。が、公民館主事には、学校の教師のように教えなければならないという責務はない。社会教育の主体者は住民自体にあるのであるから、求められてその相談に応ずる仕事だ、と、はっきり公民館主事の役割をわきまえてかかる必要がある。そうでないと、学校の教師のような公民館主事を求めたが一部の有力者もいるので、特に注意を喚起しておきたい。

それから、これも念のためであるが、「あの主事は芸術家肌だ」とか、あるいは「あの主事は行事屋だ」とか、そういう類の特長だけが誇大にいふらされて、公民館主事として、あるいは社会教育主事として、(1)本質的に、また基礎的に充分わきまえていなければならない第一義的な任務や技術がおろそかにされたり、また、(2)いっばしの教育者として、やはり負わなければならない道義的な責任が曖昧にされてはならないことも付け加えておきた。

#### ☆

のこされた紙面で、本年度の努力事項をにらみながら、その努力事項に向って、どこまで接近したかを眺めてみたい。しかし、個々の担当分野に属することは省略して、どの分野にも属さないものだけにとどめる。

#### 社会教育課努力事項

##### a 社会教育施設の充実をはかる

- (1) 青少年の訓練施設としてまず積慶寮を整備していく。
- (2) 公民館の建物およびその内容の充実に対して協力していく。
- (3) 県と地方の視聴覚ライブラリーの連携を強化していく。
- (4) みどり号を用いてへき地社会教育に奉仕していく。

##### b 勤労青少年教育の振興をはかる。

- (1) 青少年の自主的な集団活動をとおして社会道徳を高めていく。
- (2) 青年学級における職業教育ならびに科学教育を充実していく。
- (3) 青少年団体における生産活動をもり上げてい

く。

- (4) 青少年の健全な野外活動を盛んにしていく。
- (5) 実業高等学校との連携を密にしていく。

##### c 婦人教育の徹底をはかる。

- (1) 婦人の小集団学習活動を活発にしてその知性を高めていく。
- (2) その土地にふさわしい婦人学級の運営を生みだしていく。
- (3) 婦人団体相互の連携を緊密にしていく。
- (4) P T A活動をとおして道徳教育を地についたものにしていく。

##### d 文化的環境の醸成をはかる。

- (1) 芸術文化の向上に特に力を注いでいく。
- (2) 文化財に対する積極的な保護と未開発物件の調査および資料の整備をはかっていく。

##### e 社会教育担当者の向上をはかる。

- (1) 法に定められた社会教育主事の講習を行っていく。
- (2) 青少年婦人その他公民館運営審議会委員等の相互の研修活動を盛んにしていく。
- (3) 社会教育地区を設定してあらゆる角度から社会教育活動を科学的なものにしている。
- (4) 第5回日本社会教育学会福島開催の効果をわがものにしていく。

##### f 県立図書館建築の完成をはかる。

○たしかに積慶寮はよくなった。今年の1月号「社会教育」を御覧願いたい。○水道も入った。風呂もできた。布団もとのつた。部屋も温かになった。洗面所もいい。便所も清潔だ。合宿訓練施設として、夏でよし、冬でよし、といっている。

○昨年度の「予算の上にあられた本県公民館の現状」にひきつづき、「公民館の予算と事業はどう編成したらよいか」を目下印刷中である。科学的な公民館運営の一助にしたいという願いに外ならない。

○社会教育主事講習は、受講者にとっても多大の犠牲を払ったはずであるし、世話する側においても大きなエネルギーを消耗した。だが、苦しい中にも楽しみはあった。岩手、宮城、新潟の自称「外人部隊」も、本県の仲間づくり激しさに驚嘆していたようである。仲間の記録「むぎ茶」第3号も間もなく発行される。75人の受講者は昭和34年度にその後期を完了する。

○日本社会教育学会第5回大会は、準備に大きな苦勞を払ったが、さてその効果はどうであったか。大学における研究者と、公民館等における現場の研究者との間に、もっと突っ込んで話合える共通の広場をつくっておかなければならないように思った。ともあれ、教育学科を有する大学に、安心して社会教